

おわりに

本委員会で提言された方策は水質影響低減のための基本的な指針であり、各地域において実情に即した対策が講じられれば、水質影響の低減が図られるものと考えられる。

これまでの調査により判明した全国の淡水域に所在する主要PWC グレンデは、概ね以下のとおりである。現時点では、淀川を除き問題は顕在化していないが、今後のPWCの利用動向等を踏まえつつ、環境への影響を監視する必要がある。

地域	水域	所在地	グレンデの名称	最盛期の 走行艇数
東北	十和田湖	青森県 上北郡十和田湖町	宇樽部キャンプ場	20台
東北	小笠原湖	青森県 三沢市	市民の森付近湖岸	40台
関東	利根川	群馬県 邑楽郡千代田町	利根大堰（武蔵大橋）上流	150台
中部	木曾川	岐阜県 各務原市	ライン大橋上流	20台
中部	木曾川	岐阜県 羽島市	馬飼大橋上流	150台
関西	淀川	大阪府 摂津市	鳥飼大橋下流 一津屋地区	150台
関西	琵琶湖	滋賀県 彦根市	松原浜	60台
関西	琵琶湖	滋賀県 彦根市	新海浜	100台
関西	琵琶湖	滋賀県 神崎郡能登川町	栗見出在家浜	150台
関西	琵琶湖	滋賀県 近江八幡市	木の浜	20台
関西	琵琶湖	滋賀県 滋賀郡志賀町	松の浦	50台
関西	琵琶湖	滋賀県 滋賀郡志賀町	近江舞子南	200台
関西	琵琶湖	滋賀県 大津市	柳ヶ崎	140台
中国	高梨川	岡山県 倉敷市	高梨大堰（水島大橋）上流	50台

なお、本件問題の発端となった淀川地区においては、地域のPWC販売事業者団体を中心として、本委員会で提言された対策のうち同地区において実施可能な事項を組み合わせ講じた結果、昨年の計測値と比べて、これを大幅に下回る状況が確認されたことを最後に申し添えるとともに、巻末に同地区における取り組みの実例を紹介するので、その他の地域における参考とされたい。

参 考 资 料

【参考資料】 淀川一津屋地域における水質影響低減に向けた取組み例

本委員会開催中に、護岸工事のため一時閉鎖されていた一津屋地区が平成11年7月1日より開放されることとなったため、PWSA 大阪支部の関係者による打ち合わせが行われ、下記の対策が取られることとなった（別紙一津屋地区外観図参照）。

(1) 対策

(イ) 水域利用時間の制限

- ・開放期間は平成11年7月17日から10月17日までの土、日曜日のみ
- ・開放時間は10:00～16:00（駐車場のゲート開閉にて制限）

（注：従来は曜日や時間の制限はなされていなかったため、早朝から日没後まで走行しており、これは実質的な走行制限になる。）

(ロ) 遊走水域の変更

- ・ブイを設置して、間断なく走行するレース艇の利用水域を烏飼大橋付近に限定
- ・一津屋取水口直近に走行禁止区域を設定

(レ) 燃料補給時のガソリン流出防止対策の徹底

- ・ユーザーへの指導徹底（陸上給油、ジャバラホースの使用等）

(ニ) 水質影響低減ガソリン使用の啓蒙

- ・ユーザーに対するレギュラーガソリンの使用促進
- ・ハイオクガソリンを使用するユーザーに対する特定銘柄^(注①)使用の指導（口コミでの伝達に留める：文書での周知に問題有り^(注②)）

注①ハイオクガソリンを使用せざるを得ない場合、モービル石油 S. S. での購入を推奨。理由は以下のとおり。

- ・MTBE未添加ガソリンである。
- ・トルエンの含有率が他社製品より比較的少ない。（トルエンはガソリン内含有量が最も多い化学物質で、基準値に抵触する可能性が最も高い）

注②・PWSA 大阪地方支部及び同支部に属する販売店としては、モービルガソリン購入推奨を口コミで伝えることは問題はないが、ユーザーに対しペーパー（販売店 MAP及び店名リストの配布等）で示す際には、PWSA 本部からの指示が必要。

- ・PWSA 本部としては、団体名で当該文書を出すことはできない（以前オートバイに関する類似事例で、石油メーカーから問題提起された）。
- ・石油連盟は、同通達が発出される場合には、通達内容を事前に把握することを希望している。

(ハ) その他

- ・開放時間内にはPWSA 指導員による管理体制を敷き、各ユーザーに対し上記項目を遵守するよう指導徹底する。また、監視の為にパトロール艇も配置した。
- ・今後主要箇所（取水口付近等）にてサンプル採水を実施し、適宜対策を講じる。

(2) 対策後の特定 VOC 計測結果

イ) 本年7月以降の「ゆうきセンサー」による検知状況は次表のとおり。

日 時		トルエン (mg/l)	キシレン (mg/l)	ベンゼン (mg/l)	PWC 全乗入台数	
					レジャー	レース
7月18日 (日)	14:49~18:49	0.001~0.005	0.001~0.002	検知せず	51台	
					25	26
7月24日 (土)	15:44~17:44	0.001	検知せず	検知せず	14台	
					14	0
7月25日 (日)	13:43~19:43	0.001~0.005	0.000~0.003	検知せず	61台	
					58	3
7月31日 (土)	16:38~19:38	0.001~0.002	検知せず	検知せず	10台	
					8	2
8月1日 (日)	13:37~20:37	0.002~0.019	0.000~0.006	0.000~0.001	113台	
					90	23
8月7日 (土)	14:32~16:32	0.001~0.002	検知せず	検知せず	23台	
					17	6
8月8日 (日)	13:31~18:31	0.002~0.008	0.001~0.004	検知せず	95台	
					74	21
8月14日 (土)	14:25~19:25	0.000~0.003	0.001~0.005	検知せず	48台	
					26	22
8月15日 (日)	降雨のため	検知せず	検知せず	検知せず	59台	
					37	22
8月21日 (土)	16:19~17:19	0.001	0.000~0.001	検知せず	24台	
					20	4
8月22日 (日)	13:19~18:19	0.001~0.008	0.001~0.004	0.000~0.001	130台	
					102	28
8月28日 (土)	検知せず	検知せず	検知せず	検知せず	16台	
					12	4
8月29日 (日)	13:12~20:12	0.001~0.012	0.000~0.005	0.000~0.001	117台	
					99	18
9月4日 (土)	14:07~19:07	0.001~0.003	0.001~0.003	検知せず	18台	
					17	1
9月5日 (日)	13:06~21:06	0.001~0.020	0.000~0.007	0.000~0.001	103台	
					88	15
9月11日 (土)	15:01~20:01	0.001~0.006	0.000~0.001	検知せず	31台	
					25	6
9月12日 (日)	14:00~21:00	0.001~0.011	0.000~0.003	0.000~0.001	111台	
					95	16

データ提供：大阪府水道部水質管理センター及びPWSA

(ロ) PWSAによる独自計測結果

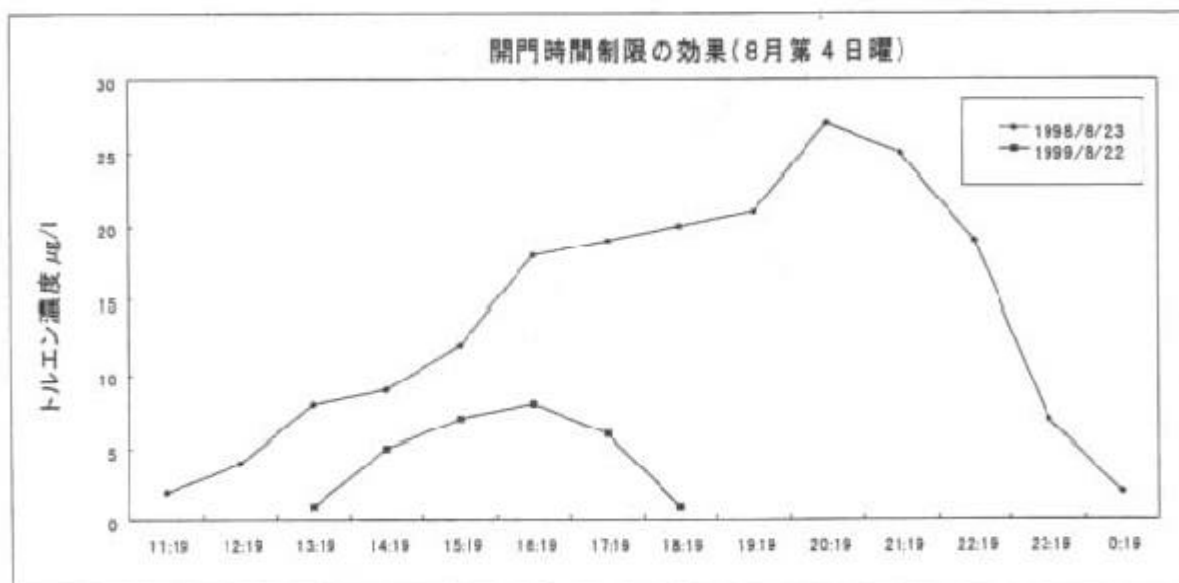
PWSAにおいても、同取水口付近にて以下のとおり採水し分析した結果、8月1日及び8月15日の採水・分析データと「ゆうきセンサー」データとの整合性が確認された。

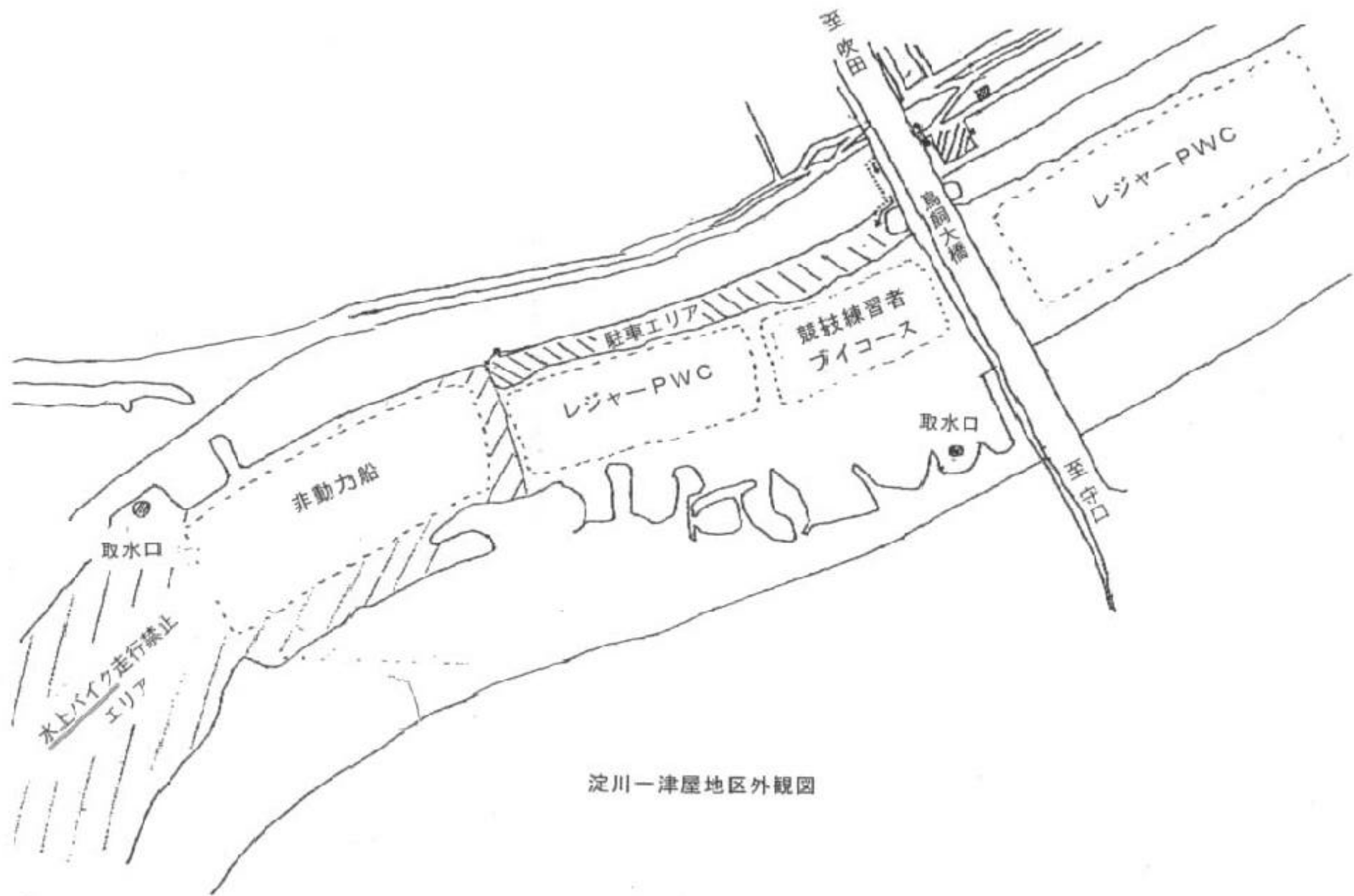
なお、8月8日の採水・分析データでVOCが検知されていないが、「ゆうきセンサー」では検知している。これは、分析が採水後10日程経過した時点で行われたことが何らかの影響を及ぼしたものと考えられる。

日付		8月1日	8月8日		8月15日
時刻		15時15分	15時00分	17時00分	15時00分
遊走台数(概略)		113	95	0	59
気象	天候	晴れ、夕立	晴れ	晴れ	雨
	気温(℃)	30.3	35.5	32.9	26.0
	水温(℃)	29.6	27.1	27.5	26.2
	波浪	凪	小波	小波	凪
VOC 分析値 (mg/l)	ベンゼン	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	トルエン	0.011	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	m, p-キシレン	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	o-キシレン	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
	MTBE	0.004	0.002	0.002	< 0.001

(リ) 昨年とのデータの比較

下図グラフに示すとおり、昨年同時期に比べ、VOC濃度が大幅に低減していることが確認された。





淀川—津屋地区外観図